

見聞録

GSC-AON 2007 会議報告

神谷 信行

横浜国立大学大学院工学研究院

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

GSCN (Green Sustainable Chemistry Network) 主催の第7回 GSC シンポジウムと AON (Asian - Oceanian Network) 主催の第1回 AON コンファレンスがジョイントした GSC-AON 2007 会議が3月6日-9日、一ツ橋記念講堂で開かれた。化学技術の進歩でさまざまな新しい物質が合成され、生活を潤し、豊かな社会を作り上げてきたが、現在は単にものを作り出すだけでなく、資源・エネルギー・環境問題をも解決する新たな技術が求められるようになってきた。この構想を実現するために国内の化学系の学会、団体、国立の研究機関を構成メンバーとする GSCN が2000年に発足した。

GSC は化学技術の革新を通じて人と環境の健康や安全を実現させることを目指して活動が進められてきた。その活動は日米欧を中心に推進されてきたが、03年3月に GSC 国際会議が日本主導で行われ、05年に第2回が米国で開かれた。一方、GSCN はアジア・オセアニアの地域間で連携を深め GSC に裏づけされた化学技術の開発・普及のため GSC アジア・オセアニアネットワーク(AON)構想ができ日本・中国・韓国・台湾・マレーシア・オーストラリアの6カ国・地域が参画して活動が行われている。

本年は AON の提唱国である日本で、GSC シンポジウムと AON 会議を一体運営で行うことが決まり、GSC-AON2007 として行われることになった。

3月6日の初日には学生フォーラムが行われた。国内学生22名、海外学生25名が参加し、国連大学安井至副学長による招待講演の後、全学生によるショートプレゼンテーションとポスター発表が行われた。懇親会では国を越えて学生達がよりよい地球環境を目指して真剣に議論がなされた。

3月7日は GSC 関係の基調講演、招待講演、各賞受賞講演、また懇親会では授賞式が行われた。8日は AON の発表が行われ、各国代表による最近の取り組みが紹介された。9日はポスター発表が行われた。学生フォーラ

ムの参加者も含まれて写真に示すように活発な会となった。

GSC-AON の会議はグリーンな環境を維持するという点では HESS の活動と相容れるところは多いが、GSC 賞の対象が化学製品の製造・使用からリサイクル・処理までに至る過程で人と環境の健康や安全への影響を低減できる化学技術や製品、関連分野で独創的な研究を行った個人や法人を表彰するという事を考えると、少し世界が異なる感じがする。それでも HESS の活動は水素という誠にシンプルな物質をもとに GSC の活動を担っているわけだから、ぜひこのシンポジウムに参加してみたらよいのではないかと思う。

ちなみに6回目になる今年の GSC 賞は

- ・ グリーン・サステイナブルケミストリー賞 経済産業大臣賞には北海道大学、(独行) 製品評価技術基盤機構、昭和電工による「固体ヘテロポリ酸触媒によるグリーンプロセスの開発」
- ・ 同文部科学大臣賞として分子研による「水中での精密化学合成を実現する高分子触媒の研究」
- ・ 同環境大臣賞としてセイコーエプソンによる「インクジェット法による液晶ディスプレイ用機能薄膜形成技術の実用化」であった。

グリーンサステイナブルケミストリーとしては水素に関連した様々な技術が該当すると思われるが、もともとの発足が化学製品を作る過程でグリーンでサステイナブルな化学技術を構築するというのもあって、水素エネルギー関連の発表や表彰はなかったが、今後、HESS としてもこのような活動も視野に入れる必要があるのではないかと思う。



GSC-AON のポスター発表会場